

検討の観点	内容の特色
1. 内容	<p><b>授業を組み立てやすい、ジャンル別・文種別の単元構成である。</b></p> <p>教科書全体は「古文編」「漢文編」「近代以降の文章編」の3部構成、それぞれは文種別の単元構成である。使い慣れた構成で、授業やカリキュラムを組み立てやすくなっている。</p> <p><b>日本の言語文化の伝統・意義を重層的に学べる作品群である。</b></p> <p>古文編・漢文編ではそれぞれ、「なぜ古典を学ぶのか」を考える入門単元を配置している。「学びを広げる」では、複数ジャンル・時代にまたがる比べ読みにも取り組める。</p> <p><b>豊富なコラムや図版と、シンプルな紙面構成の両立している。</b></p> <p>本教材の紙面は、文章読解・活動に集中できるようシンプルなレイアウトに統一している。同時に、文法や関連資料のコラムを豊富に掲載しており、様々な場面で活用できる。</p> <p>～教材選定と内容について～</p> <p><b>①日常生活における言語活動の活発化を目指し、基礎、基本の充実を目指した教材である。</b></p> <p>教材の選定、教材化に当たっては、中学校国語科における学習の成果をふまえて、高校生として望ましい国語の力を身につけ、日常生活における言語活動を活発化できるよう、に発達段階にふさわしい基本的なものが選ばれている。特に古文編、漢文編に関しては、入門期であることをふまえ、興味を持って学習し一層の発展が期待できるように工夫されている。また、生徒たちが自らの思考力、判断力、表現力を高め、さまざまな角度から問題を取り上げ、人生、社会、言語について思いを深めることができる教材が精選されている。</p> <p><b>②感性豊かに人間の姿や心情を描いた、想像力を刺激する魅力あふれる教材である。</b></p> <p>人間の普遍的な生き方や心情を情緒豊かに表現した作品を教材化することにより、日本の言語文化の諸相を幅広く取り上げ、さまざまな角度から言語文化の諸側面にふれ、日本の伝統文化にふれることができるよう配慮されている。特に、古典の現代的意義を日常の言語活動に即して把握できるよう、読みなどの音声的側面や、古典作品と近代以降の作品とのつながりにも配慮されている。</p> <p><b>③読書に親しみ、知識と教養を身につけることのできる教材である。</b></p> <p>幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うため、読書に親しみ、その意義と効用を考える契機となるような作品が選ばれ、教材化されている。</p> <p><b>④バランスよく配置された、定評ある教材と現代的話題の教材である。</b></p> <p>従来から教材化されて定評のある作品を機軸としつつ、特に近代以降の文章では、現代的な話題や視点について考えることのできる作品や文章を教材化されており、生徒の興味を喚起できるように配置されている。また、日常生活において適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高め、必要な言語能力を確実に身につけられる教材が精選されている。</p>
2. 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体は「古文編」「漢文編」「近代以降の文章編」の3部構成で、それぞれは文種別の単元構成である。</li> <li>●使い慣れた構成で、授業やカリキュラムを組み立てやすくなっている。(古文編 6単元／漢文編 6</li> </ul>

『精選言語文化』（15 三省堂 言文 703）—検討の観点と内容の特色

	<p>単元／近代以降の文章編 5 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●いずれのジャンル・単元も、日本の言語文化を重層的に学べる作品群で構成されている。</li> <li>●古文・漢文それぞれの入門単元では、「なぜ古典を学ぶのか」を考えるとともに、文の仕組みを丁寧に解説している。</li> <li>●教材に関連したコラム「古典の窓」「文学の扉」のほか、読書案内や資料編も充実している。</li> <li>●冒頭単元「言の葉の森に分け入る」では、日本語の響きや表記に関する教材が配置されている。</li> <li>●最終単元「日本語の内と外」では、外国語・翻訳を通して日本語を省みる教材が配置されている。</li> </ul>
<p>3. 表記・表現、及び指導上の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●挿絵や図版を適所に配置することで、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。</li> <li>●用語・記号は統一しており、生徒が理解しやすい記述になっている。</li> <li>●脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。</li> <li>●授業を支援する教師用指導書や教材、ICT ツールなどが充実している。教科書には学習をサポートする二次元コードがある。指導しやすく学習しやすい教科書である。</li> </ul>
<p>4. ユニバーサルデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザイン（CUD）の専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。</li> <li>●CUD への対応は、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色にしている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。</li> <li>●教材で使用している文字に UD フォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいように配慮している。</li> </ul>
<p>5. 印刷・造本などの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。</li> <li>●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。</li> <li>●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。</li> <li>●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。</li> </ul>

【総合所見】

生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実などが図られ、質的ならびに分量も適切である。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能の習得と、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫を随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。この教科書は、科目『現代の国語』の目標である、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成すること（上代から近現代に受け継がれてきた日本の言語文化への理解を深めること）に適した教科書である。